平和憲法･9条をまもる 岩手の会 ニュース No.２０９

2023.3.1
発行：平和憲法・９条をまもる
岩手の会 実務者会議
連絡先 県生協連・県消団連
TEL　019－684－2225
FAX　019－684－2227

すすめよう！「憲法改悪を許さない全国署名」

岩手の署名は、18,282 筆（～２月末。うち郵送 318 通・1,240 筆）

◇返信用封筒もあります。地域配布等に活用ください。希望の団体は岩手県生協連まで。

平和川柳の取り組み　全国から76句投稿　～一関九条の会～

一関九条の会では、平和川柳の取り組みを実施しています。６回目となる今回は、平和への思いが込められた川柳が、県内はもちろん、４６人から７６句が送られてきました。北海道や栃木など全国から、また小学生からの応募もあり、平和川柳の取り組みが広がってきました。

また、２月５日に３０人で「新春のつどい」を開催。地伏亭金目さんによる「ライオン塚」の講談のあと、千田實弁護士が安全保障問題について講演。安全とは「危なくない」、保障とは「侵されないように守る」であり、安全保障とは「人命と人権を守る」の意味、と説明。その人命と人権を危なくするのは戦争で、安全保障問題とは「どうしたら戦争にならないようにするか」を考えることだと訴え、岸田内閣を批判しました。

憲法部門
最優秀賞
九条を掲げよ世界に今まさに　ツクちゃん
優秀賞
平和こそ日本の宝守る道　福笑
自由部門
最優秀賞
反戦の声地球表にうめき出し　鳥羽ゆき子
優秀賞
核の傘平和を汚す破れ傘　小野寺俊晴
小中学生部門
特賞
第三次世界大戦起きないで　中村　陽

今こそ世代を超えた平和と環境の運動の連帯を！－岩手県生協連･協同組合公開講座－

環境活動家で NPO気候危機対策ネットワーク代表の武本匡弘さんを講師に、「環境と平和・海から見た地球～気候正義と核廃絶平和運動」というテーマで講演いただきました。

40 年間プロダイバーとして海に向き合ってきました武本さんは、プラスチックゴミだらけ、サンゴの白化など海洋環境の劇的な変容を撮りためた写真で紹介。地球環境の危機的状況に、会場からはショックの声が聞かれましたが、武本さんは「一人一人が生活の中のあたりまえのことから疑ってみる。生活者が社会を変えるという高い志（身の回りのプラスチック製品・使い捨て消費の見直しなど）を持ってほしい」と説明しました。

さらに、一人では知る限界があり、集まって学習する機会、市民グループ・環境団体等に加盟して、より効果的な高度・声を上げ続けてほしい。署名運動や気候政策を持った政党への投票などで国政を変え、気候危機と平和危機との連帯していこう、と訴え、「知ることが希望だ」という言葉で結びました。

参加者からは、「だれかを犠牲にする社会『気候正義』という言葉を初めて聞いた。社会の空気を変えていけるようできることから始めたい」「すべての軍事行動、核兵器は一瞬にして地球環境を壊す。やはりなくしていかないと」「SDGs と日本国憲法前文はほぼ同じという話を聞き、改めて日本の憲法は素晴らしいと思った」「知ることが希望、いい言葉。知ることで命を大切にしない怒りのエネルギーも、勇気ももらえる」していかなければ」などの感想が出されました。

見逃し配信はこちら⇒URL：https://youtu.be/Tnl3v4sqXHY
または、YouTube で「岩手県生協連」を検索ください。

お知らせ①「5・3憲法集会inいわて」開催

５月３日（水・祝）１０:３０～１２：００（予定）　岩手教育会館多目的ホール

≪ライブ配信も実施します≫　※集会後、ピースパレードを行います。

講　師：吉田瑞彦さん（弁護士）　参加無料　参加締切：４／２６

お知らせ②「劇場版『荒野に希望の灯をともす』上映運動」スタートします

アフガニスタンとパキスタンで 35 年にわたり、病や混乱そして干ばつに苦しむ人々に寄り添いながら命を救い、生きる手助けをしてきた医師・中村哲氏の軌跡を描いた映画です。21 年にわたり記録した映像に現地最新映像など加えて「劇場版」にリメイクした映画で、昨年 12 月に盛岡ルミエール、今年１月に一関シネマで上映されました。

映画では特に、平和のための行動提起も９条への言及もありませんが、「戦いの中から平和は生まれない」「軍事力を高めても命は守れないのだ」という中村医師の強い思いが伝わります。平和憲法・９条をまもる岩手の会としては、主権者である県民が冷静に、武力によって平和は作れないとの思いを広げることが今本当に大事な時だと考え、多くの方に軍拡反対、改憲反対、戦争の準備はいらないとの思いを広げる手段として、上映運動を行います。

また、撮影・監督を務めた谷津賢二氏の講演とセットでの上映会を考えています。

今後は、「上映をすすめる岩手の会」を立ち上げ、実行委員会結成と試写会を行い、その後は各市町村上映と、盛岡の本上映会向けて推進していきます。

「劇場版『荒野に希望の灯をともす』上映をすすめる岩手の会結成会・試写会

３月３０日（木）１３：３０～　盛岡市プラザおでって　おでってホール

◇参加希望の方は、岩手県生協連まで。

コラム　― 情報過多、錯綜のなか、「中国の外交」を見てみよう ―

去る１７日、ドイツのミュンヘンで２０２３年・「ミュンヘン安全保障会議」が開催され、またも王毅中国外相の「中国外交」が「話題」になっておりました。その「会議」の期間中に別の所で行われた「中国外交」が報じられておりましたが、先ずはそれを見てみしょう。

このコラムで以前ある団体が「『中国は怖い、強引！』『米と日本は正しい』か」をテーマにした「学習会」を開催し、「落ち着いて中国の言動を見てみよう」と訴えていたことを述べたことがあります。

それでは次にその「報道」を見てみましょう。

【北京＝小林拓也　２月１８日付け報道】中国とイランは１６日、北京で１４日に行った両国首脳会談を受けた共同声明を発表しました。声明は、イラン核合意の履行を強調し、「関連するすべての（対イラン）制裁は、検証可能な方法で完全に解除されるべきだ」と訴えました。

声明は両国の「核心的利益に関わる問題を相互に支持する」と表明。「人権擁護や民主主義を口実に他国の内政に干渉し、動乱を扇動し、分裂を招くことに反対する」と欧米諸国をけん制しました。

イランのライシ大統領は、中国の習近平国家主席の訪問を招請。習氏は適切な時期に訪問すると応じました。

この報道は国際政治の事実を率直、簡潔冷静に報じているのではないでしょうか。そして前述のある団体の「学習会」の指摘は的を射ていると思いますがどうでしょうか。（T）

「3月の街宣署名行動」

9日(木)12:15～12:45　盛岡市大通・野村証券前

「憲法改悪を許さない全国署名」を呼びかけます。

ご都合のつく方は、ぜひご参加ください。